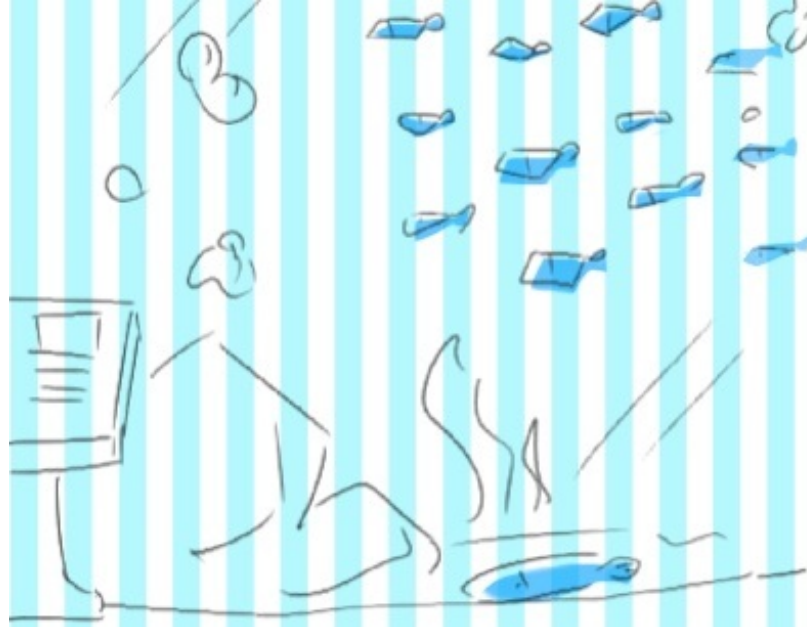


女子学生



泥口ボ ナイス害 はだし 恋をしている
真匿名 迂回 スコラブ



6月号

表紙イラスト:イチゴだいふく

【目次】

連作

「ドッペルゲンガーと落語を見に行く」・・・・・・・・恋をしている

「ワインディングロード2」・・・・・・・・スコラブ

「かさなる雨と」・・・・・・・・迂回

「手が届くもの」・・・・・・・・ナイス害

「もらって帰る」・・・・・・・・はだし

本当にカッコをつけないこと——「そんな生活」評

編集後記

ドッペルゲンガーと落語を見に行く

恋をしている

俺に会うやつのがちを考えて読む新聞が火薬の匂い

障害者専用トイレで用を足すこんなに午後が僕を包んで

俺が飲むものを飲んで俺がよく行く店に行く、ハッピーコントロール

春でいる時間は僕に短くてたばこを一本もらつていいか？

落語家はみんな同じに見えるけど古今亭とかあつていいよな

サゲで見た明るい虹をいまもまだ渡っているよ、彼は白鷺

整形がこんな値段でできることお前がイチローを知らないことうつせえ

寝言だけ日記につけた旅だから半分くらいはあなたのものだ

ラブラブラブ人間ラブ自分ラブひとラブ生きるラブやみのなか

一日中ぼくらは驚いていた夜明けに月のコピーが続く

ワインディングロード2

スコラブ

コンソメに浮かぶパスタをすくい上げ創造主は気まぐれと知る
不安めく紫色が首までも上がる前には家族写真を

思い出にボウリング球転がして展望台を倒せたのなら

さあごらんすべての嘘がここにある猫が四匹いた公園も

単行本収録されぬほくたちは出会うていないふりをしている

ポジティブシンキングポジティブシンキングポジティブシンキング夜は長い

悪いけど淫らな姿想像してもいいかなと飛ばすテレパシー

この道が曲がりくねっていないなければ会えたのにねとまた同じ道

眠ろうかドラム乾燥機の中で白い木綿の夢を見ながら

かさなる雨と 迂回

つゆの日にあじさいを描く 当たり前みたいな顔はしないでいたい
うつむいたアガパンサスの一輪にしゃがんで視線合せたりとか

(誰よりも傘でありたい) 年上がポテトチップをぶちまけた床
数式と意味が緬い交せに降ってて猫はしきりに背中を舐める

片膝を立てて迷路を解いていて観賞用の唐辛子です

雨といをつたった雨は夜明け前なにも言わずに染みこんでゆく

ひと巡りした年月を刻む今日にんにくの皮まだ剥きづらい

濡れ砂を砂を探して掘り返すあなたのための砂と信じて

しとやかなベルフラワーとお寿司とがかさなりあったホームページで

人間をはなれたことば 人間がほろびたあとに紫陽花にふる

手が届くもの ナイス害

6月の影が延びてくスピードを見なよ僕らはコンテンポラリー

ジュナイマリを聴くと脳から顔を出すYUKIちゃんに似てない人達

雨が降る1秒前の顔をして君はジュゴンのように寝転ぶ

馬鹿だから4種のチーズピザの上とろけるチーズ乗せて海賊

せんべいチョコせんべいチョコせんべいチョコと交互に食べるまだ午前中

筆ペンのように自由に生きたくて髪の先まで舐めて欲しいわ

カーテンをシャッと開けたら店員とキスをしている夢を見ました

もらうて痛る　　はだし

電球をかえたい　まるい椅子の上で背伸びをしてるほくに十五夜
米でない主食のうちの麺でないほうの焼きたてでない朝食

きのうから最もいい角度のままの座椅子は明日もたぶんそのまま
バスは行くひとつの星も見せぬままガードレールのひたすらな藍

大村崑の看板さびるこの街を普通に暮らすおんなのこたち

軽トラの荷台の隅に座ってる犬くしゃみする　稲穂さざめく

どすけべがあつまうとんやろなずと春の映画館のむこうにいわし雲
おにぎりのかたちがとこのつてる朝にお別れをしまいたくない

配送の際には必ずこの面を下にしてください(すわりたい)

きのうまで最もいい角度のままの座椅子起こせばテレビ見やすい



あなたはカッコつけてますか？ と聞いて即座に「はい」なんて答える人はほとんどいない。でも、実際僕らはカッコつけている。男も女も関係なく。ここで言うカッコつけているというのは、いわゆる「容姿が整っているように見える」や「キザったらしいことを言う」とかそういうのではなくて、自分の中にあるひとつの理想像が相手の思うあなたの印象と重なるようにふるまうということだ。

例えば自分の理想の人間像が「誰にでも優しい人」ならば、そう見えるように行動することが「カッコをつけている」ことであり、カッコをつけているやつに「俺はカッコなんてつけない。いつだって自然体なのさ」と言って、自由人のようにふるまうのも「カッコをつけている」ことに他ならない。

自分がなりたい自分を相手にアピールすることの何が悪いんだと言われればそれまで、というか僕も当たり前だと思う。でもそれが分かっているながらみんな「カッコつけてますか？」と言われてなかなか「はい」とは言えない。だってそこで「カッコつけていることがばれている自分」はあなたが目指す理想のあなたではないから。

短歌だってもちろん全員が少なからずカッコつけている。それがなんとなく歌とリアルな生活を遠ざけているのである。自分のいつもの生活を歌にしてみてもすでに生活それ自体に虚勢を張っている僕らには、「本当の感じ」を見出すことがとても難しいのかもしれない。

ネット歌集「31」は1983年生まれ、今年31歳になる歌人による連作が10編収められている。この中で特に注目したのは、じゃこさんの「そんな生活」という一連である。以下、その一連を引用する。

「そんな生活」

じゃこ

新聞を逆さに読めば何ひとつ悲しいことはなくてねこです

うちの子の中でいっとう言うことを聞かん掃除機また裏返る

鯖一匹くれると聞いて水槽を用意したのに死んでいるとは

おはようの言葉でさえもすばらしく「みつを」と添えたくなっただもの

旦那さんかっこいいねと言う人のコンタクトレンズいっぱい入ってる

サーモンといくら一緒に食べるのがやっぱ美味しいね倫理的には

よろこびも束の間次のよろこびが舞い込んでくるそんな玄関

(電子書籍「31」 <http://p.booklog.jp/book/84261> より)

ご覧のとおり旦那さんと私による生活が歌われた一連であるが、これを読んだ僕の第一印象は「なんてカッコをつけていないんだ」というものだった。カッコをつけていない＝カッコ悪いということではなく、これは本当の意味でカッコをつけることを忘れていて、あるいは意識的に歌を生活のレベルにまで落とし込んで作られた連作のように感じられる

。 鯖一匹くれると聞いて水槽を用意したのに死んでいるとは

鯖をくれると聞いて食材ではなく生きた鯖をくれるのかと勘違いしたという笑い話のような短歌だが、これが僕らにリアルな感じを与える要因とはエピソードのしょうもなさ（貶めてる訳ではない）である。まるで、恋人が恋人に語るレベルの話短歌にするときにもう少し演出しようとか、ここに意味があるような感じにしてといった無駄な深さを付与する作業が一切ない、つまりは「カッコつけていない短歌」なのだ。

うちの子の中でいっとう言うことを聞かん掃除機また裏返る

おはよの言葉でさえもすばらしく「みつを」と添えたくなっただもの

旦那さんかっこいいねと言う人のコンタクトレンズいっぱい入ってる

これらの歌にも笑いの要素が盛り込まれていて、そのどれもが僕らの生活のなかで微笑み合うぐらいの誰でもついていけるものなのである。

僕が思うリアルは「本当にあったことを詠う」ことでも、多少の演出によって「リアルに見せる」ことでもなく、歌をつくる姿勢だったり歌そのものの雰囲気の中に「カッコつけている部分」がないかどうかだと思っている。

じゃこさんの歌が圧倒的な「カッコつけてなさ」を勝ち得ているのは、これが旦那さんと共に過ごす「生活」をテーマにした連作だからという部分も大きい。僕らが唯一虚勢を張らずにむしろ、自分の理想のレベルを落としてでも一緒にいたいと思うのが「家族」や「恋人」であり、その空気感がやはり歌全体からあふれ出ている。このじゃこさんの連作には旦那さんに「これこれこういうことがあってね」と見せて、笑い合うようなそんな日常の匂いがある。本当にカッコをつけていないこの連作は、旦那さんに向けていると取った方がもはや自然なくらいだ。読者を前にしたとき僕らは必ずカッコをつけてしまうのだから。

（文 恋をしている）

電子書籍「31」はパブーで無料で読めます。是非ご一読を <http://p.booklog.jp/book/84261>

【編集後記】

はっぴばーすでーとぅーゆー、はっぴばーすでーとぅーゆー、はっぴばーすでーでいあ……
眠りにつこうとしていた私は突然誕生日を祝われて、跳ね起きた。

私の誕生日は11月23日、今日が日付変わって6月1日ああ、全然違った寝るべきだ。私ではな
かった祝われているのは。

はっぴばーうでーとぅーゆー、はっぴばーすでーとぅーゆー、はっぴばーすでーでいあ……
まだ祝っている。誰を祝っているのだ、というかこれはいったいどこから聞こえる歌なんだ。

はっぴばーすでーでいあ……

でいあの次がどうしても聞こえない。誰へ向けた、祝福なのか、これは。私は妻と別れ、この狭い
部屋でカップラーメン大臣になって、つまらない絵ばかり描いてたまに、生きているのに。誰かを
祝う歌なんて聞きたくない。

はっぴばーすでーでいあ……

今日は星が綺麗だな

はっぴばーすでーでいあ……

そして私は昔友人にあげたプレゼントを思い出した。村上春樹のサイン本と称して、私が「森でお
なじみ森久保」と書いて渡したあの本を。楽しかった今日

でいあ

2014 6/1 恋をしている

言いたいことが無くなっても、まだくずれかけたどこかの星の話があるね——

執筆者

はだし(@sunsetsan0)

ナイス書 (@NiceGuuuy)

恋をしている (@yayoikenumai)

迂回 (@ukaian)

スコラブ(@scope_scape)

なんたる星 6月号

発行日：2014年6月1日

編集発行人：恋をしている

表紙・挿絵製作：イチゴだいふく
(@unbkmk)

Twitter：@nantaruhoshi